

事業名	生きがい対策費	財務コード (事業)	169204
-----	---------	---------------	--------

細事業名	山梨県高齢者社会活動推進等事業費補助金
------	---------------------

担当部課室	福祉保健 部 長寿社会 課 企画在宅福祉 担当 (内線)	3113
-------	------------------------------	------

事業の概要

実施期間	始期 H8 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(市町村)		
事業の目的	誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	単位老人クラブ 市町村老人クラブ連合会	先駆的な活動を行うことで、新たな高齢者の社会活動の場を生み出している。	豊かな老後を実現。
事業の内容 主に 24年度	単位老人クラブ及び市町村老人クラブ連合会に対する助成を行っている市町村に対して補助を行うことで、高齢者の社会活動を推進する。 補助先:市町村 補助率:国・県・市町村 1/3 事業内容 単位老人クラブへの活動助成 3,526円×助成を行った老人クラブの活動延月数 先駆的な活動に対し、市町村老人クラブ連合会に助成 一般事業 1市町村老人クラブ連合会あたり194,000円 72円×市町村老人クラブ連合会加入老人クラブの会員数 特別事業 リーダーの育成、加入促進、情報提供・相談活動、地域支え合い、若手高齢者組織化・活動支援、活動支援体制強化、 モデル事業それぞれの事業で先駆的又は重点的に実施する場合、1市町村老人クラブ連合会あたり194,000円を上限として知事の認めた額 健康づくり活動を行う市町村老人クラブ連合会に助成 趣味、スポーツ活動及び健康に関する講習会等を開催し、健康づくりに関する実践活動、健康に関する知識等について普及・啓発を行うことを促進する事業を実施している場合、1市町村老人クラブ連合会当たり300,000円以内で知事が		
根拠法令等	山梨県社会活動等推進事業費補助金交付要綱		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	23年度	24年度		25年度	26年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	単位老人クラブ数 老人クラブ会員数	1,286クラブ 68,824人	1,279クラブ 68,379人	1,258クラブ 66,773人	1,229クラブ 65,019人	1,229クラブ 65,018人	目標設定の考え方 クラブ数及び会員数の減少に歯止めがかかるよう努める。 データの出典等 山梨県高齢者社会活動推進等事業費補助金事業実績報告(H24)・協議書(H25)より
	活動指標達成率 (実績値/目標値)	%					
成果指標	単位老人クラブあたりの活動量(活動月数の実績値/(単位老人クラブ数×12ヶ月))	99.79%	100.00%	99.95%	99.98%	100.00%	目標設定の考え方 クラブ数及び会員数の減少に歯止めがかかるよう努める。 データの出典等 山梨県高齢者社会活動推進等事業費補助金事業実績報告(H24)・協議書(H25)より
	成果指標達成率 (実績値/目標値)	100.0 %					
決算額、予算額	44,523	43,384		46,141	45,736	成果指標によらない成果 本事業により、老人クラブ活動による様々な取り組みが促進され、高齢者の生きがいづくりや健康づくりに寄与しており、効果があがっている。	
(千円) うち一財額	22,232	21,692		23,071	22,868		
所要時間(直接分)	300 時間	300 時間		300 時間	240 時間		
所要時間(間接分)	0 時間	0 時間		0 時間	0 時間		
所要時間計	300 時間	300 時間		300 時間	240 時間		
人件費コスト 単位:千円 (@2,050円×所要時間)	615	615		615	492		

これまでの事業の見直し・改善状況

平成21年度行政評価(内部評価)により、補助金交付要綱の見直し・改正を行い、市町村老人クラブ連合会が実施する事業に、「地域支え合い事業」、「若手高齢者の組織化・活動支援事業」、「市町村連携強化支援事業」及び「介護予防事業」を加え、補助対象を拡大することで、老人クラブ活動の促進を図った。

活動量と成果の判断(平成24年度の業績評価)

(1)事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)

数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
H24年度活動指標達成率		単位老人クラブ数については、目標1,279クラブに対して実績1,258クラブであり、目標達成率は98.4%となり、予定通りの活動量がある。 また、老人クラブ会員数についても、目標68,379人に対して実績66,773人、目標達成率97.7%となり、こちらも予定通りの活動量である。
	b	本県の単位老人クラブ数及び老人クラブ会員数は減少傾向にあるが、全国の減少の割合より小幅となっており、活動量としては一定の成果が認められる。

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2)事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記入すること
H24年度成果指標達成率		単位老人クラブあたりの活動量は達成率100%となっている。また、平成21年度の見直しにより補助対象が拡大し、老人クラブ活動による様々な取り組みが促進され、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにつながっており、意図した成果を上げている。
b	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

見直しの必要性(平成26年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)

見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	高齢化の進行に伴い高齢者数が増加しているなかで、老人クラブの会員数は減少傾向にある。会員の確保やクラブ活動の活性化を図るために、老人クラブの広報活動を充実させるよう努める必要がある。 また、協議・交付申請・実績報告の事務について、入力漏れやシートの操作によって自動計算が合わない等の問題が生じており、確認作業に時間がかかっている。入力箇所以外のロックや検算式の追加などエクセルシートの改善を行い、市町村担当者および県担当者の事務効率の向上を図る必要がある。	k

「以外の判断項目」の欄
必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) 官or民(f.民間等実施) 官の役割分担
(g.市町村等へ移管) 効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価

見直しの必要性	説明	以外の判断項目

「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

見直しの方向(平成26年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
実施方法等の変更	県で実施している「山梨県高齢者地域支え合い活動促進事業費補助金事業」内において見直しを行い、平成26年度から老人クラブ会員向けの広報紙の発行を行う事で、老人クラブ活動の活性化を目指す。 また、平成25年度内に申請等のため県が配付している電子シートについて 入力箇所以外の部分を誤って変更しないようにロックをかける。印刷範囲外に検算や確認用の数式を入力する。といった改善を行い、人的なミスを防ぐようにすることで、平成26年度から事務効率の向上を図ることとする。

見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。